



 **Tokyo Mnemosyne** 東京ムネモシュネ

Tokyo Mnemosyne **e-books**

<http://haikustock.com>

A4用紙に印刷して2つ折りにします。右端をホッチキス留めるとA5判の小句集に仕上がります。  
個人で楽しむ範囲でのダウンロード、印刷以外の無断転載・コピー・流用は一切禁止します。

にんげんが名付けけふより春の蠅

薄氷やとうに死者には忘れられ

見張台こぼれし春の水輪かな

哭くといふ字は男なり春の宵

啓蟄や国文法をおろそかに

ひとりづつ春満月をよこぎりぬ

物怖ぢも物音もせで桜葉に

香水を隠しことばのやうにふる

点さねば虫の匂ひのほうたるよ

蟻地獄大きな家の小さき戸

無頼とは長生きのこと梅雨夕焼

一生の激しきときの涼み台

おさむ先生

丸洗ひふるさとのなき夏帽子

どこからか虫湧いてくる色暦

流星や石に打たるる日の来るか

3

茜空秋草の罨仕掛けよう

法師蟬火種香炉の中にある

枯いろのおんぶぼつたに地球かな

体温をわけ合うて桜紅葉かな

流木に一對はなし冬汀

4

けふといふ日を糺さるる大海鼠

枯野にて火を焚く術を考へる

冬銀河吃水線を傾けぬ

氷張る水の内意をしてをりぬ

据うるとは植うることなり霜の墓

俎板の上の鉛筆去年今年

雪が来てふるさとのある夜のやうに

養老や金魚の泳ぐ冬の水

加はりぬ一寒林の連携へ

新年といふ鬼がくる鬼が来る